

黒部市立中央公民館

◆事業の目的

自然体験活動を通して、子どもたちが自然と親しみ、有効活用できる知識を深めことを目的とする。また、ふるさとの良さを再確認する。

◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
5月21日(土)	葉っぱDEだんご	中央公民館周辺	36名
7月23日(土)	土のぬくもりを感じる陶芸教室	阿古屋野窯	24名
10月22日(土)	むかしのくらし体験	農村文化伝承館山本家	34名
12月23日(金)	お正月アレンジメント	中央公民館	34名

◆事業の様子

☆ 葉っぱDEだんご

よもぎだんごと桜もちを作りました。子どもたちはよもぎを茹でる時の色と香りの変化に興味深く観察していました。また、桜もちの葉を塩漬けしたものを種類別（オオシマザクラ・ヤエザクラ・ソメイヨシノ）に香り・触った感じを体験してもらいました。簡単に手に入る野草を使い作って味わうことで、自然に親しみをもてるようになったようです。



☆ 土のぬくもりを感じる陶芸教室

紐作りの手法で陶芸を行いました。粘土の扱いが難しく、湯のみが花びんになったり、ごはん茶碗が鉢になったりと思い通りにいかない方も多くいらっしやいました。そんな中でも笑顔で作品作りを楽しむ親子の姿がみられ、陶芸の魅力が伝わる教室になりました。



☆ むかしのくらし体験

ススキのコースター作りとかまどでご飯を炊きました。むしろ織り機の仕組みを使って、ススキのコースターを作りました。かまどに薪をくべて火の加減を見ながらご飯を炊く体験は、子どもたちにとって新鮮だったようです。おこげのご飯をおかわりする子どもたちが続出でした。



☆ お正月アレンジメント

竹を土台にしてマツ・ラン・ナンテン・古代米・マツボックリを使ったアレンジメントを作りました。同じ材料でも、それぞれ趣向を凝らして個性豊かな作品に仕上がっていました。単純な作業ではなかった分、達成感や満足感が得られたことが作品を嬉しそうに持ち帰る子どもたちの表情から伝わってきました。



◆事業の成果と課題

参加者の方から「家庭では体験できないことができた・知識を得ることができた・地元こんな場所があることを知り、今後も利用したい・地域の自然の豊かさを感じることはできた」という声が聞かれ、自然を通して地域の良さを感じ、学んだことを家庭でも反映させようという意欲を感じることができました。